

第3回上海国際博覧会日本館計画委員会
議事概要

日時： 平成20年7月10日(木) 11:30～13:20

場所： 日本貿易振興機構 5AB 会議室

出席委員： (敬称略)

日本貿易振興機構理事長 林康夫(座長)
経済産業省流通審議官 寺坂信昭
キヤノン株式会社専務取締役 渡部國男
トヨタ自動車株式会社専務取締役 古橋衛
松下電器産業株式会社代表取締役副社長 北代耿士
日本貿易振興機構参与 小平信因
(オブザーバー) 国土交通省、環境省、(財)地球産業文化研究所

議題：

建築の進捗状況について
展示の進捗状況について
ロボット出展について
今後のスケジュールについて

議事概要：

- 上記議題に関する事務局説明について以下のとおり意見、質疑応答があった。

< 建築の進捗状況について >

- 博覧会会場の跡地利用について質問があり、同会場は基本的に公園や住居、オフィスとして跡地を利用し、日本館についてはリユース、リサイクルを極力行いたいとの説明があった。
- 防火、防犯、防災などのリスク管理について質問があり、開催者が設けている一定基準以上の避難幅員の設定やスプリンクラーの設置など十分な配慮をしたいとの説明があった。
- 水、電力の供給について質問があり、蓄電などのリスクヘッジを行いたいとの説明があった。併せて、水の浄化に係る問題を今後検討し、報告したいとの説明があった。

< 展示の進捗状況について >

- 展示の進捗が当初の工程より遅れており、危惧しているとの意見があった。
- 今後の進め方については、経済産業省、ジェトロ、主要協賛企業3社は、プロデューサーチームや、先日の展示制作に係る入札において落札した(株)電通と共に作業を速やかに進めていきたいとの説明があった。
- ゾーン の内容についての質問があり、映像、実機、演者をうまく組み合わせ全体として面白い演出を作りたいとの説明があった。

<ロボット出展について>

- ロボット出展に係る推進体制について質問があり、運営・広報・行催事担当のプロデューサーが中心となり、今後当該業務を落札する企業と共に進めていきたいとの説明があった。
- ロボット出展の費用について質問があり、バックヤード、ステージなどの基礎的な部分は日本館サイドで、ロボット提供については協賛企業にお願いしたいとの説明があった。また、演出に係る費用負担については、今後相談しながら決めていきたいとの説明があった。
- ロボットの対象、出展募集、選定方法について質問があり、募集等については今後詰めていきたいとの説明があった。

<今後のスケジュールについて>

- 展示について、方針の議論ばかりでなかなか具体化していない。会期までほとんど時間が無いという覚悟で進めていただきたいとの意見があった。
- 推進体制強化のための新たな専門家の役割について質問があり、展示業務の推進のために議論の整序役を果たしてもらうことを考えているとの説明があった。

以上